

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

平成28年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第7回講義

攻めの農林水産業に向けた科学技術

農林水産省農林水産政策研究所長
別所 智博 氏

別所先生からのメッセージ

食料供給、国土保全など私たちにとって重要な機能を持つ我が国の農業ですが、高齢化や気候の変化などでその基盤の脆弱化が懸念されています。一方で世界の食料需給は人口増加や途上国の経済発展などから逼迫傾向にあり、将来、私たちの食料をどのように確保していくのかということが、食料自給率の向上を含めて大きな課題になっています。さらに、先般合意されたTPPなどの農産物貿易を巡る環境の変化に対応し我が国の農業を成長産業化することが喫緊の課題となっています。

この課題解決に、生産技術を中心とした農業分野での技術革新が大きく貢献できる可能性があります。今回の講義では、我が国の農業を巡る現状、課題を概観した上で、我が国の新たな農政の方向とそれを支える農業技術分野での取組をわかりやすく解説します。私たちの命の源である食料と農業の問題について一緒に考えて見ましょう。

日時:

2016年5月27日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所:

工学研究院

オープンホール

[B-201]

別所智博先生

昭和56年北海道大学農学部農芸化学科卒業後、農林水産省入省。

豪州留学(クイーンズランド大学農学修士課程修了)、新潟県地域農政推進課長、生産局農業環境対策課長、農業生産支援課長、総務課長、消費安全局担当審議官等を経て、平成25年4月から農林水産省における技術政策のとりまとめ責任者である技術総括審議官として、新技術の開発・普及対策、原子力災害対策、食品安全対策等を担当、平成27年10月より現職。

担当:工学系教育研究センター 渡邊康正教授
内線:6908 Mail: ceed-int@eng.hokudai.ac.jp